

一般医療機器 類別: 器 07 内臓機能代用器
一般的名称: 人工心臓弁用サイザー (JMDN コード: 17703010)

大動脈弁用サイザー

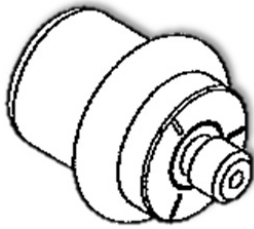
【禁忌・禁止】

- ・本品について、改造や加工等を行わないこと。[形状の変更や刻印をするなどの二次加工は折損の原因となるため]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状等

本品は、人工心臓弁用サイザーとして使用する。



材質: ポリフェニレンサルファイド樹脂、ステンレス鋼
(ステンレス鋼には、クロム及びニッケルが含まれている。)

2. 原理

心臓弁置換術の手術器械として使用することにより、患者の弁輪径のサイズを測定することができる。

【使用目的又は効果】

心臓弁置換術時に手で用いる外科用器具で、適切なサイズの人工心臓弁を植え込む開口部を測定する。

【使用方法等】

本品は未滅菌のため、使用前に【保守・点検に係る事項】に記載の滅菌方法及び滅菌条件にて滅菌を行う。

1. 使用方法

本品で人工弁を植え込む弁輪を通過させ、弁輪径を測定する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 全般的な注意
1) 【保守・点検に係る事項】に定められた方法で、本品の洗浄及び滅菌を行うこと。[その他の方法で洗浄・滅菌を行った場合、洗浄・滅菌の有効性や本品の耐久性に影響を与えるおそれがあるため。]
2) 測定されたサイズの人工心臓弁を使用し、サイズの合わない人工弁は使用しないこと。
3) 本品がクロイツフェルト・ヤコブ病患者への使用およびその汚染が疑われる場合は、破棄処分すること。

(2) 使用中の注意

- 1) サイザーを組織弁輪に強く押しつけないこと。[患者の組織が損傷するおそれがあるため。]
2) 実測値より大きいサイズの人工弁を選択しないこと。弁輪径の測定値が 2 つの、サイザーのサイズの間である場合は、小さいサイズの人工弁を選択すること。[大きいサイズを選択した場合、人工弁の植え込みが困難になるおそれがあるため。また、患者への健康被害を防ぐため。]

(3) 使用後の注意

本品の使用後は【保守・点検に係る事項】に定める方法で洗浄及び滅菌を行い、清潔に保管すること。使用後の洗浄と滅菌は、使用後直ちに行うこと。

2. 不具合・有害事象

人工心臓弁置換に伴う副作用として、逆流(弁周囲、ヒンジ部、弁葉間、リーフレット周囲等)、溶血症、感染症、血栓症、血栓塞栓症、抗凝固療法に起因する出血性合併症、人工心臓弁の機能不全(肉牙の形成・血栓等によるものも含む)又は故障、心不全及び死亡等が報告されている。これらの合併症を生じた場合には再手術か心臓弁の再置換が必要となることがある。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法: 高温、多湿、直射日光、水漏れ、振動及び衝撃を避けて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

(1) 手順

- 1) 使用前にサイザーにひび割れや変形等の劣化がないことを確認し、劣化がある場合には使用しないこと。
- 2) 使用前に必ず下記の滅菌方法及び滅菌条件で滅菌を行うこと。
- 3) 使用後は下記の方法で洗浄及び滅菌を行い、清潔に保管すること。洗浄と滅菌は、使用後直ちに行うこと。

(2) 洗浄方法

- 1) 本品を、一般的な界面活性剤を用いて約 2 分間温水で濯ぐ。
- 2) 柔らかいブラシを用いて本品に付着した汚れを取り除く。
- 3) 本品を酵素洗剤入りの超音波槽に入れて、5 分間超音波洗浄を行う。洗剤の使用法等は、洗剤の添付文書及び取扱説明書を参照すること。
- 4) 洗浄用ブラシで本品に残存する汚れを全て取り除く。
- 5) 再度、目視で汚れが残っていないか確認し、残っている場合は、必要に応じて 1) から 4) の洗浄手順を繰り返し、汚れを全て取り除く。
- 6) 温流水で約 15 分間濯ぎ、洗剤を洗い流す。

(3) 滅菌方法及び滅菌条件

滅菌方法	高圧蒸気滅菌(前真空式)
滅菌条件	①時間: 20 分 温度: 121℃
	②時間: 10 分以上 温度: 132℃

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 株式会社フジフレックス

電話番号: 0743-72-0888